



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 腎臓内科 客員研究員 門多 のぞみ

【研究責任者】

聖路加国際病院 腎臓内科 客員研究員 門多 のぞみ

当院に入院した方を対象とした急な容態変化に関する研究

1.研究の対象

2003年7月～2020年12月に当院に入院中に腎センターで血液透析を行った方
ならびに2011年1月～2020年12月に当院に入院された透析を行っていない方

2.研究の目的・方法

現在、一般人口と比較して維持透析患者の死亡率は3倍ほど高いと言われて
います。入院中の死亡率に関しても、維持透析患者は一般人口の6倍とされてい
ます。

院内死亡は急な病態の変化(以下、急変)を介して起こること多いです。今回、
私たちは、入院中の維持透析患者の急変リスクについて調査することで、急変
を未然に防ぎ、患者さんの生命予後改善することを目的としております。

また、透析をされていない患者の急変リスクと比較することで、透析患者のよ
り良い管理を探索することを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に
記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2025年12月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 年齢、性別、身長体重、透析の原疾患、入院時主病名、既往歴、
血液検査、カルテ番号 等